

武井武雄生誕130年記念シンポジウム

武井武雄の 真髓に迫る



長野県地域発元気づくり支援金活用事業

基調講演

松本猛

(ちひろ美術館常任顧問)

「武井武雄のウィットとユーモア」

登壇者

竹迫祐子 (公財いわさきちひろ記念事業団理事)

名久井直子 (ブックデザイナー)

遠藤知恵子 (白百合女子大学
児童文化研究センター助手)

山岸吉郎 (イルフ童画館館長)

河西見佳 (イルフ童画館学芸員)

犬塚奈々子 (イルフ童画館学芸員)

日時 2024 9/15 日

開場 12:45 開演 13:15

入場料 無料

場所 カノラホール
CANORA HALL
小ホール

武井武雄の世界
イルフ童画館

主催：岡谷市、イルフ童画館
公益財団法人おかや文化振興事業団

TEL 0266-24-3319 mail / m27625@ilf.jp
〒394-0027 長野県岡谷市中央町 2-2-1

武井武雄生誕 130 年記念シンポジウム

2024 年 9 月 15 日 (日) カノラホール 小ホール

開場：12:45 開演 13:15 入場無料

武井武雄が創作した作品は、童画、版画、刊本作品、おもちゃ、詩、童話に至るまで多岐にわたります。それらの芸術作品はどのように誕生したのか、また今後どのように評価されるべきなのか。様々なジャンルの専門家たちとのトークの中で、「武井芸術」の真髓に迫ります。

登壇者プロフィール



松本 猛 (ちひろ美術館 常任顧問)

1951 年生まれ。美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問。1977 年にちひろ美術館・東京、97 年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県立美術館館長、絵本学会会長を歴任。著書『いわさきちひろ』(講談社)『ちひろ美術館の窓から』(かもがわ出版)『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』(新日本出版社)、絵本に『白い馬』(講談社)『ふくしまからきた子』(岩崎書店)など。



竹迫 祐子 (公財 いわさきちひろ記念事業団 理事)

1984 年に同財団に入所。1996 年より安曇野ちひろ美術館 (長野県) に勤務。学芸員として館内外の展覧会を担当、作品収集、国際交流に関わる。著書に、『永遠のモダニスト 初山滋』『ちひろの昭和』『ちひろダイアリー』(以上、河出書房新社)『ちひろを訪ねる旅』(新日本出版社)等。全国学校図書館協議会絵本委員、JBBY 理事、東京子ども図書館理事。



名久井 直子 (ブックデザイナー)

1976 年生まれ。1997 年武蔵野美術大学卒業。広告代理店を経て、装丁の仕事をはじめ、現在に至る。2014 年第 45 回講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。2022 年 BEST BOOK DESIGN FROM ALL OVER THE WORLD にて Bronze Medal 受賞。

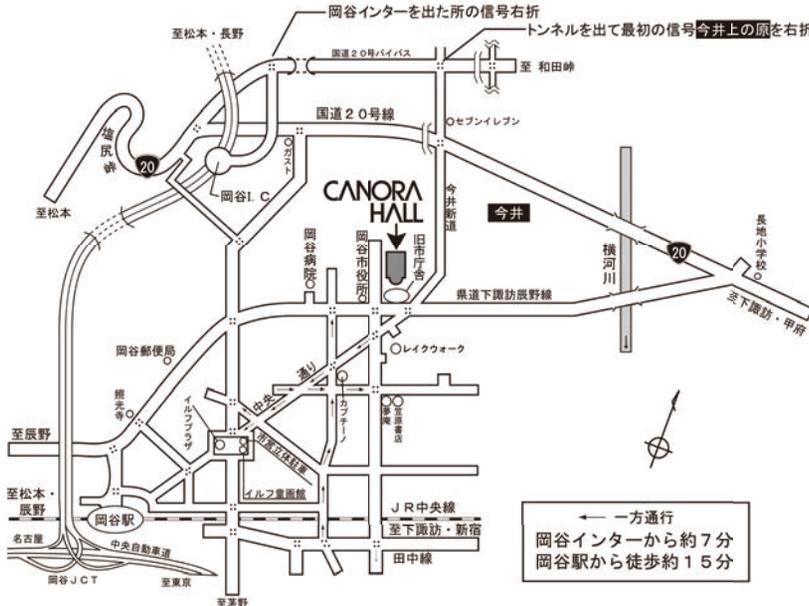
写真：井上佐由紀



遠藤 知恵子 (白百合女子大学児童文化研究センター 助手)

1982 年神奈川県横須賀市生まれ。武井武雄研究、童画研究。白百合女子大学大学院博士課程で児童文学を専攻。博士論文のタイトルは「武井武雄の創作活動と『童画』の成立」。横浜市学校司書を経て、現在は白百合女子大学児童文化研究センターに非常勤助手として勤務。また、青山学院大学などで非常勤講師を務める。

カノラホールへのアクセス



← 一方通行
岡谷インターから約 7 分
岡谷駅から徒歩約 15 分

武井芸術の 真髓に迫る

プログラム

12:45 会場

13:15 開演

ごあいさつ 早出一馬 (岡谷市長)

基調講演 松本 猛 (ちひろ美術館 常任顧問)

「武井武雄のウィットとユーモア」

(10 分休憩)

14:10

研究発表 犬塚 奈々子 (イルフ童画館 学芸員)

14:35

館長対談 竹迫 祐子 (公財 いわさきちひろ
記念事業団 理事)

名久井 直子 (ブックデザイナー)

聞き手：山岸 吉郎 (イルフ童画館 館長)

(10 分休憩)

15:30

研究発表 遠藤 知恵子 (白百合女史大学児童
文化研究センター助手)

館長対談 河西 見佳 (イルフ童画館 学芸員)

16:15 質疑応答

16:30

ごあいさつ 山岸 吉郎 (イルフ童画館 館長)

16:45 閉幕

【お問い合わせ】

イルフ童画館

TEL 0266-24-3319

mail / m27625@ilf.jp

〒394-0027 長野県岡谷市中央町 2-2-1